

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜県立揖斐高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年5月20日～6月10日
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会 長	長沼 健治郎	揖斐高校同窓会長
副会長	鷺見 千恵子	揖斐高校PTA会長
委 員	折戸 朱美	揖斐厚生病院看護業務調整担当
	金森 佐知子	揖斐高校PTA幹事
	杉山 洋子	揖斐川町社会教育委員
	高橋 真紀	揖斐川町住民福祉部健康福祉課課長補佐
	服部 均	揖斐川町商工会会長
	堀尾 茂之	J A いび川組合長
	保井 円	大和神社禰宜
	矢野 智	元揖斐郡小中校長会長
学校側	西脇 勝己	校長
	和田 撰子	教頭
	河田 禎彦	事務長

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和3年度学校の取組について

意見1：大学、専門学校見学会をどのような形で実施する予定か。

⇒ 将来を考えるよい機会にもなるので、感染状況を確認したうえで、対策を講じて実施していきたい。

意見2：部活動の活性化について、昨年度から部活動を減らす方向で動いており、全員加入でもなくなっているが、どのように活性化するのか。

⇒ 部活で育成される力は、将来社会でも役立つ大切なものである。生徒が意欲的に部活動に取り組めるように、1年生の全員加入推奨の期間の設定など現在検討中である。

意見3：SDGsについて学ぶ機会を今後も続けてほしい。

意見4：「命を守る訓練」は災害時に自分の身を守ることを学ぶためにも大切な訓練である。

意見5：家庭クラブ活動や保育コースの活動は、地元の環境に目を向け、地元の良さや、自然豊かな揖斐川町のすばらしさに気付く活動である。継続して取り組んでほしい。

意見6：デュアル実習を選択する生徒が10名になったことは、これまでの取組の成果である。

意見7：新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、揖斐川町の高齢者のサロンや体操教室などのボランティアにも参加してほしい。

意見8：コロナ禍ではあるが、学校行事について縮小したり、方法を変えたりして、できる限り年間の活動を実行してほしい。特にデュアル実習、城台山の学習、学習成果発表会などに大いに期待している。

意見9：どのような状況でも、生徒を重視された指導、活動が実践されている。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の取組について

意見1：コロナ禍でも、最大限の対策をとり、生徒の健康や命を守るため、日々の尽力に感謝している。

意見2：コロナ禍において、生徒が求めるのは、心の癒しや健康である。感染症の講習会やオンライン全校集会等を継続してほしい。

意見3：新型コロナウイルス感染症に対する一貫した取組や、社会生活に適応できる人材の育成について積極的に行われていると感じる。今後も学業と人間性を養う指導を継続してほしい。

意見4：学校の教育活動は本来、対面で互いにコミュニケーションを取りながらすすめられることが望ましいが、今は感染防止に配慮し、教員と生徒、生徒同士の交流、協働の在り方を工夫しながら、授業や実習が行われることを期待している。

(3) 令和3年度 教育指導の重点及び学校運営基本方針について

意見1：豊かな人間性の育成に努めてほしい。

意見2：基礎学力の定着として、学びなおしの機会が与えられることで、中学時に理解できなかったことが、改めて学び直して理解できたことは生徒の自信につながると思う。

意見3：豊かな人間性の育成により、地域の方により印象でみられるようになった。

意見4：個性や独創性を伸ばし、目的をもって学校生活を送れるようお願いしたい。

意見5：自分の将来の生き方や進路を方向づけるキャリア教育は高校3年間で極めて重要であらう。外部教育資源の活用や進路ガイダンスの実施は、コロナ禍においても工夫し、進められるよう期待している。

意見6：連携型中高一貫教育については連携中学校との行事をさらに充実させるとともに、本校の魅力をよりよく伝えることで、本校への進学希望者が増えるように期待している。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、教育の重点及び学校運営基本方針について、全委員からの承

認が得られた。学校案内パンフレットとともに、HPの記事や各種たよりから、コロナ禍での学校、生徒の様子を理解していただき、貴重な意見が得られた。今回得られた意見を参考に授業改善、学校行事など企画・運営に役立てていきたい。